

第 7 回 自治基本条例策定審議会 検討シート

検討項目：情報共有（情報公開）

1 項目のポイントと主な検討事項

市民には、市政にかかわる情報を知る権利がありますので、その情報を共有することを明確にするとともに、市は市民参加を保障するため、行政が持っている情報だけでなく、まだ持っていない情報を収集して市民に提供する責務があると言われてい

ます。

関市の自治基本条例素案には、どのような事項を盛り込んだら良いでしょうか。

(例)

- ①自治の基本原則である市民参加の権利を保障するため、市政に関する情報を市民と共有すること。
- ②市民参加を推進するため、必要な情報を収集し、わかりやすく市民に提供するよう努めること。
- ③市民が容易に、かつ、等しく市政に関する情報の提供を受けられるように努めること。

この限りではありませんので、各グループで自由に考えていただき、意見交換をしてください。

2 説明

- ・行政が保有している情報が圧倒的に多いことから、行政が積極的に情報の提供や公開する旨を規定することに意味があります。
- ・市民や市民活動団体も公共主体であると位置づけると、それぞれが持つ情報を共有財産として相互に利用するべきです。

3 意見交換 メモ

検討項目：個人情報の保護

1 項目のポイントと主な検討事項

市民の基本的な人権を守ること、公正で開かれた市政運営を推進するために、行政は保有している個人情報を保護する必要があります。個人情報の保護を行政の責務とし、個人情報の収集、利用、提供、管理に関して、適切な措置を講じることが重要であると言われています。

関市の素案には、どのような内容を盛り込んだら良いでしょうか。

(例)

- ①個人の権利利益を保護するため、個人情報の公正かつ適正な取り扱うこと。
- ②自己の個人情報の開示、訂正、削除、利用停止等を請求できること。

この限りではありませんので、各グループで自由に考えていただき、意見交換をしてください。

2 説明

- ・個人情報の保護を市民の権利とするものと行政の責務とするものがあります。
- ・個人情報の保護は行政だけでなく、議会、市民活動団体等も配慮する必要があります。

3 意見交換 メモ

検討項目：市民参画の原則と仕組み

1 項目のポイントと主な検討事項

自治基本条例の柱となるのは、市民参画と協働です。ここでは、市民の参画に関して、市民側からの参画するという視点と行政側の参画できる環境を整備する視点で考えます。

市民が主体のまちづくりを推進するためには、市民が積極的に行政に参画し、行政も市民が参画できる環境を整備しなくてはなりません。また、市民には、不参加を理由に不利益が及ばないように配慮することも必要です。

関市の素案には、どのような事項を盛り込んだら良いでしょうか。

(例)

①市民は行政の計画、事業実施の段階に参画ができます。

…市民に影響がある制度の導入や計画には、必ず市民が参画することが望ましいと考えられます。

③市民参画は、年齢、性別、職業、障がいの有無等に関わらず誰でもできます。

…市民参加は、誰でも参加できるものでなくてはなりません。

③市民は、参画できないことにより、不利益を受けません。

④行政は、市民が参画する機会を様々な手法で保障します。

…パブリックコメント、意見交換会や公聴会、アンケート、ワークショップ、付属機関への市民公募など多様な参画の機会を設けます。

この限りではありませんので、各グループで自由に考えていただき、意見交換をしてください。

行政は、どんな場合に市民参画を保障し、また、市民は、どんな場合に市民参画を行うべきか考えてみましょう。

2 説明

- ・行政は、出来るだけ広く市民の意見を聞き、市民参画の機会を保証する手段を規定します。
- ・行政のあらゆる場面で市民参画を求めることは大変重要なことです。しかし、軽易なものや重要でないことに市民参画を求めることは、費用対効果や時間がかかります。そこで、「軽易なもの」、「緊急に行うもの」、「行政の内部事務処理」などには、

市民参画を求めないことができるという規定を設ける自治体もあります。

また、「市税」、「使用料」、「負担金や分担金」などの賦課徴収に関することは、市民参画も求めないという規定をしている自治体もあります。

- ・市民参画を求めるときは、なるべく早い時期から市民参画を求めることという参画の時期について規定をする自治体もあります。

3 意見交換 メモ

検討項目：協働の原則と仕組み

1 項目のポイントと主な検討事項

自治基本条例の柱となるのは、市民参加と協働です。ここでは、協働を推進するための原則を規定します。

行政は、市民の相互理解や信頼関係をもとに協働のまちづくりを推進しなくてはなりません。

関市の素案には、どのような内容を盛り込んだら良いでしょうか。

(例)

- ①市民、議会及び行政は、互いの自主性を尊重し、協働してまちづくりを推進します。
- ②行政は、非営利で不特定多数の利益の増進に寄与する市民公益活動を支援します。

これからの関市では、協働をどのように進めるか、その基本的な理念や方針を考えましょう。

2 説明

- ・協働とは、「市民、議会及び行政がお互いに尊重し、対等な関係で協力及び連携すること」です。(本審議会の「定義」において話し合いました。)
- ・協働は、様々な主体（市民、議会、行政、事業者、住民自治組織など）の連携によって行われます。協働により、地域の人材や情報、資金などを有効に活用して、地域の公共的課題の解決を図ることが大切です。その担い手に市民がなれるように、行政は支援をしなければなりません。
- ・行政は、公共的な活動を行う多様な主体が、地域で活躍できるように支援を行うことが必要です。

3 意見交換 メモ

検討項目：説明責任

1 項目のポイントと主な検討事項

市民の知る権利を保障し、自治の基本原則である市民参加を推進するため、基本的条件である説明責任を果たすことが、市政運営の各段階で必要です。

説明責任は、市民参加や市民との協働、情報の共有化を進める上で前提となる制度です。また、市民も施策や事務事業について、積極的に行政や議会に説明を求めることで、この説明責任の実質化を後押しすることになります。

関市の素案には、どのような内容を盛り込んだら良いでしょうか。

(例)

- ①市営運営における政策の立案、決定、実施、評価の各段階において、市民に分かりやすく説明する責任を負うこと。
- ②市民の意見、提案、要望等に対して、速やかに（誠実に）応答すること。

この限りではありませんので、各グループで自由に考えていただき、意見交換をしてください。

2 説明

- ・行政、議会は信託している市民に対して、当然説明責任を負っていますが、公共の一部を担う市民や市民活動団体も税金による支援を受けた場合は、同様の説明責任を負います。
- ・説明方法は、市民に分かりやすいものであることが重要です。

3 意見交換 メモ